

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が642例(男性308例(10歳代35例, 20歳代70例, 30歳代61例, 40歳代52例, 50歳代35例, 60歳代16例, 70歳代9例, 80歳代10例, 90歳代2例, 年齢非公開18例), 女性280例(10歳代30例, 20歳代53例, 30歳代60例, 40歳代50例, 50歳代30例, 60歳代19例, 70歳代8例, 80歳代8例, 90歳代2例, 100歳以上1例, 年齢非公開19例), 性別及び年齢非公開54例)あり, 本年の累積報告数は20,417例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(30歳代女性)あり, 本年の累積報告数は30例となりました。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(50歳代男性)ありました。症状は発熱, 咳嗽, 肺炎, 頭痛で, 感染地域は国内, 感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は16例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性)ありました。本年の累積報告数は31例となりました。
- 梅毒の報告が1例(70歳代男性)ありました。症状は硬性下疳で, 感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は46例となりました。

梅毒は早期には薬物治療で完治できる感染症です。しかし, 検査や治療が遅れたり, 治療せずに放置したりすると, 脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために, 性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。また, 性器や口腔周囲に異変を感じたら, 性行為を控え, 速やかに医療機関に相談し, 早期発見・早期治療することが重要です。

- 播種性クリプトコックス症の報告が1例(80歳代女性)ありました。本年の累積報告数は5例となりました。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.63(27例)となり, 前週0.63(27例)と同数でした。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 なし, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 174例(肺結核 59例, その他結核 52例, 潜在性結核感染者 63例)うち喀痰塗抹陽性 26例】
- 新型コロナウイルス感染症642例【1月以降の累積報告数20,417例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 30例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数 31例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 46例】
- 五類:播種性クリプトコックス症1例【1月以降の累積報告数 5例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	1.95	84
(降順5位まで)	② ヘルパンギーナ	0.63	27
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	15
	④ 手足口病	0.33	14
	⑤ 突発性発しん	0.28	12
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

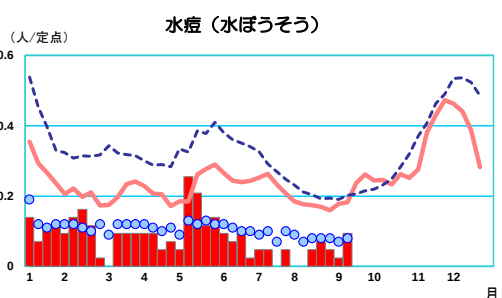
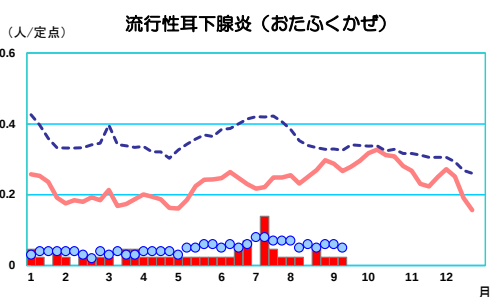
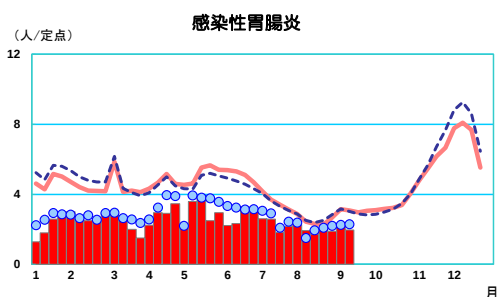
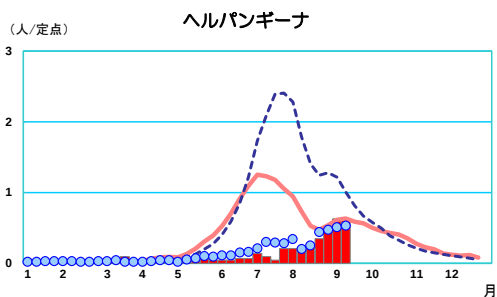
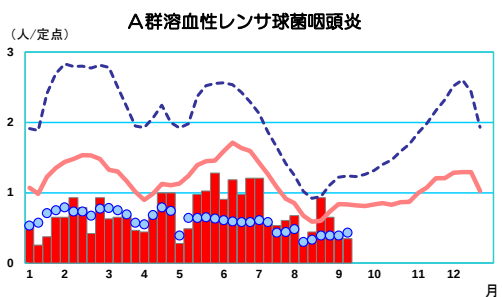
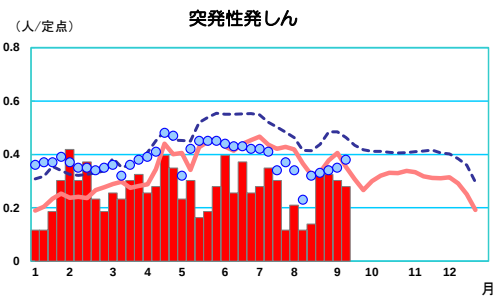
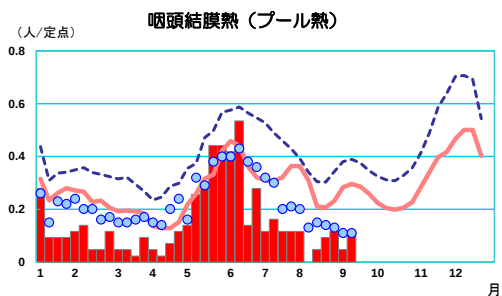
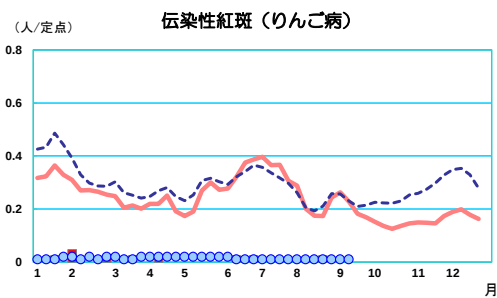
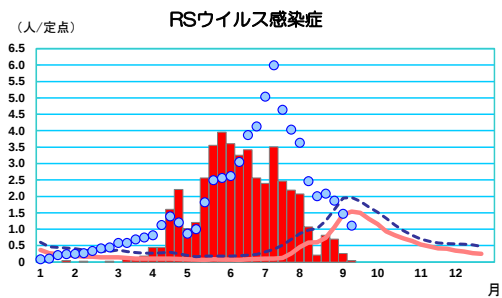
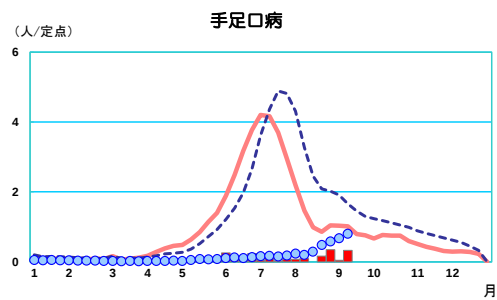
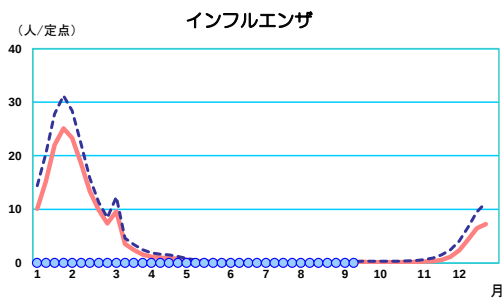
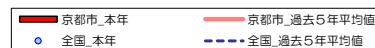
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年9月22日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

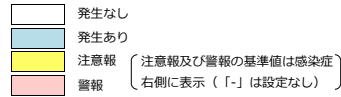
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

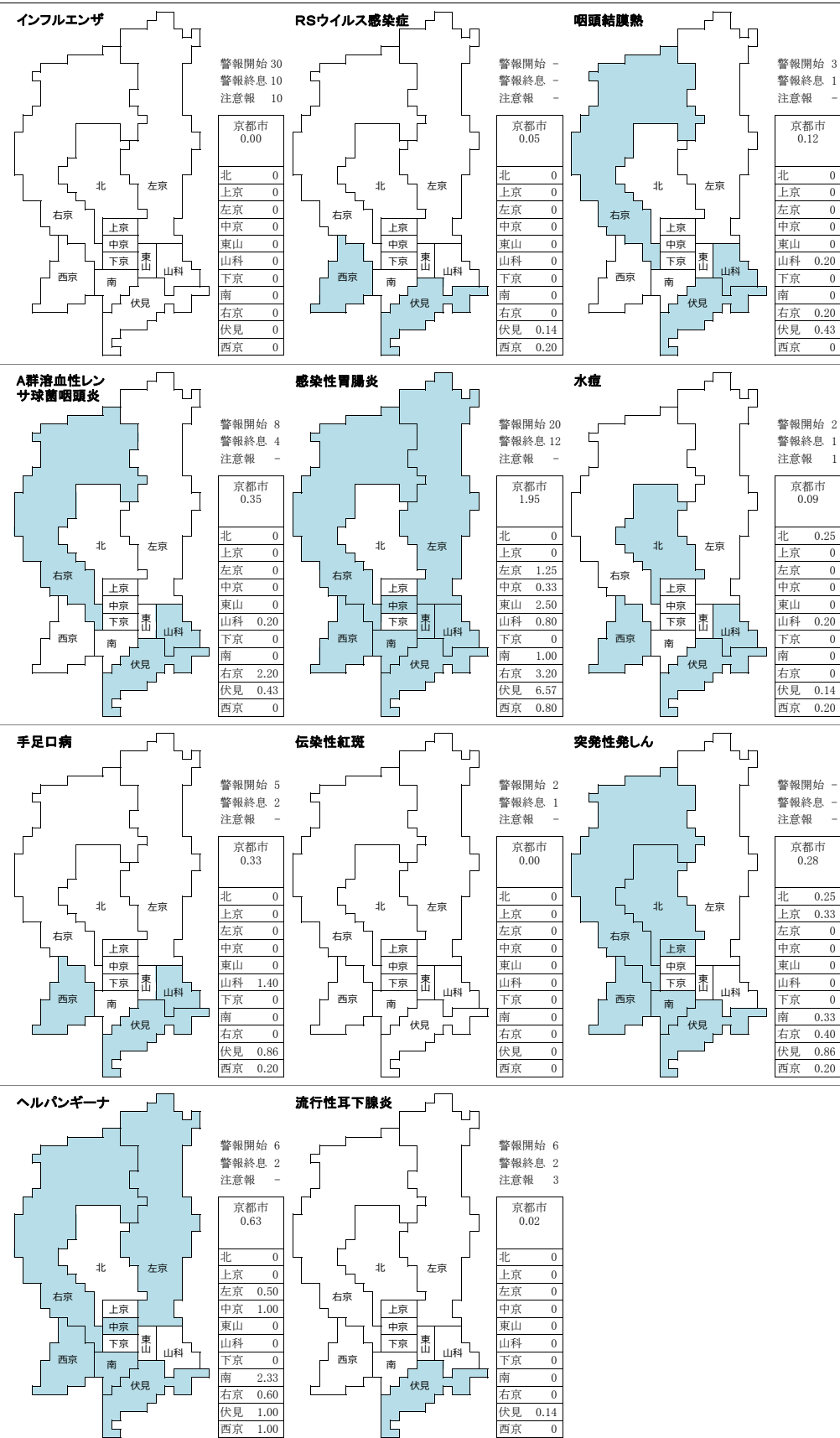
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第37週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第37週(9月13日～9月19日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.63(27例)となり、前週0.63(27例)と同数でした。本疾患は例年、5月ごろから報告数が増加し始め、7月ごろにかけてピークを形成し、9月～10月にかけて減少していきます。しかしながら本年は5月～8月にかけて大きな流行は見られず過去5年平均値と比較してかなり低い水準で推移してきた後、第34週ごろから徐々に増加傾向となり、今週は過去5年平均と同水準まで達しています。全国でも今週0.53、前週0.51で本市同様、第34週ごろから増加傾向にあります(図1)。

都道府県別の定点当たり報告数のうち第32週から37週の間に全国の過去5年平均値を超えた週がある県を見ると、第32週までは超過がありませんでしたが、第33週以降は徐々に上回る地域が増えてきており、今週は新潟(2.26)、福井(2.30)、滋賀(2.25)など地域に偏りはなく8県に及んでいます。現在のところ、警報開始基準値の定点当たり報告数「6」を超える地域は出ていないものの、本年は例年と異なる発生動向を示しており、今後注意して見ていく必要があります(表1)。

ヘルパンギーナは手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)とともに夏風邪の代表的疾患で、主にコクサッキーウイルスA群により発症します。原因となるウイルスが数種類あるため、何度にもかかる可能性があります。患者は5歳以下の乳幼児が全体の9割前後を占め、潜伏期間は2～4日です。症状は39℃～40℃の突然の発熱、咽頭痛の他、特徴的なのは口腔内に1～5mmの小水泡、これから生じた小潰瘍ができます。口腔内の水泡、潰瘍による痛みにより、不機嫌、食事がとりにくくなります。予後は良好ですが、まれに髄膜炎を生じることがあります。

予防方法としては、患者との密接な接触を避けること、タオル等の共用を避け、手洗いうがいを十分に行いましょう。治癒後も2～4週間にわたって糞便中にウイルスが排泄されることがあるため乳幼児のトイレやおむつ交換時の取り扱いに十分注意し、処理後は念入りな手洗いを徹底しましょう。

●こどもの感染症リーフレット(ヘルパンギーナ) URL

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/herupanngina.pdf>

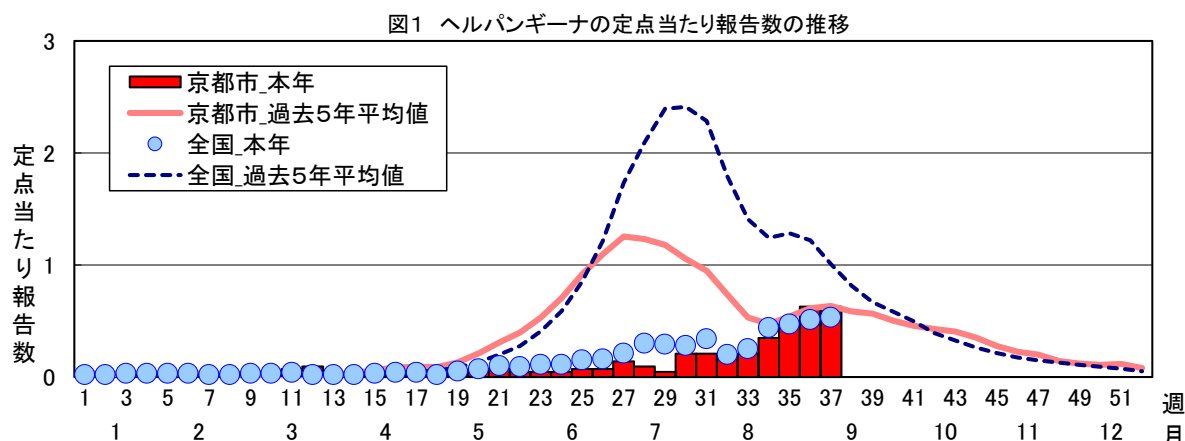


表1 全国の定点当たり報告数
(本年第32週～37週に全国過去5年平均値を超えた週がある県のみ表示・赤色塗)

	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週
全国過去5年平均値	1.79	1.41	1.24	1.28	1.22	1.01
新潟県	0.02	0.33	2.77	4.61	3.42	2.26
福井県	0.13	0	0.35	1.26	1.13	2.3
三重県	0.59	0.89	1.5	1.3	0.64	0.84
滋賀県	0.31	0.53	1.14	1.58	1.75	2.25
島根県	0.13	0.3	0.3	0.26	0.61	1.09
愛媛県	0.43	0.41	0.27	0.38	0.78	1.27
高知県	0.46	0.93	1.21	1.14	1.36	0.82
福岡県	0.06	0.18	0.28	0.53	1.12	1.12
大分県	0.08	0.39	0.19	0.44	0.69	1.72
宮崎県	1.11	1.53	3.14	3.25	3.58	1.89
京都市 過去5年平均値	0.73	0.53	0.47	0.54	0.61	0.63
京都市 本年	0.21	0.35	0.35	0.49	0.63	0.63

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第37週

疾病,行政区別報告数

2021年9月13日～2021年9月19日

データ入手日:2021年9月22日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	-	-					
中京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	1	1	4	1	7	-	-	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	3	-	-	-	1	7	-							
右京	-	-	1	11	16	-	-	-	2	3	-	-	-					
伏見	-	1	3	3	46	1	6	-	6	7	1	-	1					
西京	-	1	-	-	4	1	1	-	1	5	-	-	-					
京都市計	-	2	5	15	84	4	14	-	12	27	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	1.25	-	-	-	-	0.50	-	-	-					
中京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	0.20	0.20	0.80	0.20	1.40	-	-	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	1.00	-	-	-	0.33	2.33	-							
右京	-	-	0.20	2.20	3.20	-	-	-	0.40	0.60	-	-	-					
伏見	-	0.14	0.43	0.43	6.57	0.14	0.86	-	0.86	1.00	0.14	-	0.50					
西京	-	0.20	-	-	0.80	0.20	0.20	-	0.20	1.00	-	-	-					
京都市計	-	0.05	0.12	0.35	1.95	0.09	0.33	-	0.28	0.63	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年9月13日～2021年9月19日

データ入手日:2021年9月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	-	-	1	1	1	2	1	2	1	-	-	2	1	3						
感染性胃腸炎		84	-	6	13	25	5	7	5	1	1	3	1	7	3	7						
水痘		4	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	1						
手足口病		14	-	-	8	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		12	-	2	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		27	-	1	11	9	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.35	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	0.02	-	-	0.05	0.02	0.07						
感染性胃腸炎		1.95	-	0.14	0.30	0.58	0.12	0.16	0.12	0.02	0.02	0.07	0.02	0.16	0.07	0.16						
水痘		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02						
手足口病		0.33	-	-	0.19	0.07	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.28	-	0.05	0.19	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.63	-	0.02	0.26	0.21	0.09	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年9月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	46	9	35	30	11	2
咽頭結膜熱	-	2	4	5	2	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	19	40	28	18	15
感染性胃腸炎	83	74	91	81	96	84
水痘	-	2	3	2	1	4
手足口病	4	-	7	15	2	14
伝染性紅斑	-	-	1	-	-	-
突発性発しん	5	6	14	14	13	12
ヘルパンギーナ	8	9	15	21	27	27
流行性耳下腺炎	1	-	2	1	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	1	-	-	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	160	122	213	197	171	165

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	1.07	0.21	0.81	0.70	0.26	0.05
咽頭結膜熱	-	0.05	0.09	0.12	0.05	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.44	0.93	0.65	0.42	0.35
感染性胃腸炎	1.93	1.72	2.12	1.88	2.23	1.95
水痘	-	0.05	0.07	0.05	0.02	0.09
手足口病	0.09	-	0.16	0.35	0.05	0.33
伝染性紅斑	-	-	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.12	0.14	0.33	0.33	0.30	0.28
ヘルパンギーナ	0.19	0.21	0.35	0.49	0.63	0.63
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.05	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.10	-	-	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	3.80	2.91	5.03	4.58	3.98	3.91

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。